


















SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 三井住友海上あいおい生命保険株式会社熊本生保支社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
																										
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内にて共有、実践している。	●		グループ会社のミッション・ビジョン・バリュー、当社の中期経営計画を社内にて共有、実践している。									8	9									17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		定期的コンプライアンス研修を実施しており、法令順守は基本であることを徹底している。																			16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		当社行動憲章に基づき、保険事業の社会性・公共性を原点として倫理的に正しい行動を最優先とすることを社員に周知している。												10							16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		本社に サステナビリティ推進チームを設置、熊本生保支社にも担当者を置き熊本生保支社内に取組を共有、企業活動が社会・環境に及ぼす影響を考慮し、社内連絡等で取組むべき目標を常に共有、連携を行っている。																			16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		商標管理マニュアル、職務発明規定を設けている。								8.2	8.3	9											
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報取扱は当社規定に基づき適切に取得、保管、提供を行っている。内部監査においても厳格なチェック体制が構築されている。																			16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		定期的に顧客アンケートを実施、また通年でもお客さまWEBアンケートも実施、信頼と共感を得る取組を行っている。																			16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性及生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●	●	会社として社内に「スピークアップ制度」を設け、不正に対して通報できる仕組みを作っている。					5				8		10			12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●	●	社内のBCPマニュアルに基づいて、定期的に災害時連絡システム等で災害時の模擬訓練を行っている。												9			11			13.1		16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●	●	自社株評価や事業承継に向けた経営コンサルティングを積極的にステークホルダーに向けて提案および実施している。												8	9							17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●	●			1	2			5				8						12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		定期的な人権学習を実施し、あらゆる差別や人権侵害のない企業風土の定着に取り組んでいる。				4.3	5.1				8.5		10.2								16.1	16.2	16.7
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●	●	労働災害発生防止の観点から、職場巡視・リスクアセスメントを実施し、必要な職場環境整備を行っている。定期健康診断受診率100%を維持し、受診結果に基づき社員自ら健康の自己管理ができるよう支援している。			3						8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●	●	同一労働同一賃金等の原則に沿って適正な雇用体制としている。					5.5				8.5		10.2	10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●	●	熊本県よかボス登録を行っている。業務効率化、早帰り、リモートワーク等の働き方改革を実践しワークライフバランスに取り組んでいる。			3		5.5				8.5	8.8	10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●	●	自ら学び自ら考えチャレンジし、成長し続ける社員になるため各種学習ツール、経費支援がありプロフェッショナリズムの浸透による専門性強化を推進している。				4	5.5				8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●	●	当社は、「健康経営優良法人(ホワイト500)」に継続認定されており社員一人ひとりが心身の健康を保持増進できる健康や安全に配慮した職場づくりに取り組んでいる。			3						8											17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●	●	ダイバーシティ&インクルージョンを推進している。多様性と多様な価値観を尊重する企業風土の定着、性別・障がい者・LGBT・国籍を問わず社員が活躍できる職場環境の整備とマネジメント力向上に取り組んでいる。				4.4	5.1	5.5			8.5		10.2	10.3								16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェビナー等を導入している。	●	●	執務室の換気、マスク着用、地域の感染状況に応じて在宅勤務の実施、社内会議はほぼWEB会議を導入している。			3						8	9.1		11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●	●	AIを導入した「MS1 Brein」の活用を推進、業務効率化を図っている。										8	9.1		11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●	●				3	4					8	9					12						

環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●	日常業務の中で有害化学物質の取扱はないが、ごみの分別を徹底することで環境汚染予防に取り組んでいる。			3.9							11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●	2019年度に対して2020年度実績、ガソリン使用量▲22.1%、電力▲20.4%、紙▲36.1%と削減傾向にあり、さらに2030年度には2019年度比それぞれ▲25%、▲30%、▲50%削減を目指している。 エアコンの温度を28℃(冷房)設定とすることで車の運転時には急発進を避けること、また、従来は書面であった生命保険申込をペーパーレスとしており利用率を上げることで削減に取り組んでいる。													13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●	エアコンの温度を28℃(冷房)設定とすることで83gのCO2削減、車の運転時には急発進を避けることで207gのCO2削減、従来は書面であった生命保険申込をペーパーレスとしており利用率を上げることで紙の使用量10枚あたり84gのCO2削減など、日々削減に取り組んでいる。グループ会社全体で2019年度89,055tであったCO2排出量を2023年には73,000tまで削減目標としている。			2.4										12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●	申込手続きのペーパーレス率を上げることで環境への影響を軽減している。熊本生保支社においてもレジ袋をもらわない、できるだけプラスチック製品を購入しない、マイバック、マイボトル持参を全員で徹底している。															14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●	グループ会社では「みんなの地球プロジェクト」として環境・社会貢献活動を推進している。マイボトル持参やネットゼロチェックリストを活用してごみの削減、省エネに努めている。									9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●	節水の声掛けや張り紙などにより、熊本生保支社全員で節水を徹底している。			2.4								11.5				14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●	契約プロセスにおける省資源、紙使用量の削減を図るため、書面での申込手続きを減らしている。ペーパーレス率を62.5%まで上げる推進を行っている。9月現在57.1%。環境負荷の低減につなげている。										9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2											12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●												11.6 11.7			13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●																				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●																				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●																				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●	ゴミの分別を行う、エコバック、マイボトルを持参する等、でプラスチック使用削減に取り組んでいる。																			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●	会社として原則、車通勤を不可としており、熊本生保支社の7割の社員が公共交通機関を利用して通勤している。											9.4								
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●	2030年度には2019年度比ガソリン使用量▲25%、電力▲30%、紙▲50%削減を目指している。ペーパーレス申込を推進し段階的に利用率向上に取り組んでいる。																			17.2	

